



## 機能とカラー・デザインで選ぶ！ カーテン・ロールスクリーン・ブラインド

カーテン・ロールスクリーン・ブラインドの役割は、「日差しの調節」「外からの視線を遮る」ことが基本となります。また、それぞれにデザインや機能など独自の特長を持ちます。ここではどんなカーテン・ロールスクリーン・ブラインドを選べばいいか悩んでいる方に、くわしく解説します。



### カーテン



カーテンは3つのうちで最もシンプルな構造なので、色やデザインなど多種多様に揃っていて、どんな部屋やインテリアにも上手くコーディネートすることができます。素材も豊富で、とくに「遮光性能」が高いもの、燃えにくい「防炎仕様」の他、「遮音」「遮熱」「遮像」に優れたものも用意されています。最近では、奥さまに嬉しい紫外線をカットするものや、ウォッシャブル素材の人気です。自宅で手軽に洗えるので、花粉やハウスダストなどから室内を清潔に保つことができます。

また、種類が多いだけでなく、価格帯も幅広く、比較的安価なものも揃っているので、予算に応じて選ぶことができます。

デメリットと思われることはあまりありませんが、布製の場合は傷みやすいとか、ボリュームのあるカーテンの場合は、部屋が狭く感じるという意見もあります。

ロールスクリーンの操作方式は2種類あります。プルコード式は真ん中にぶら下がっている紐をひっぱって開け閉めするタイプ。チェーン式はスクリーンの横にあるチェーンを引いて上げ下げします。

ただし、ロールスクリーンは収納がコンパクトなだけにあまり大型のものではなく、開口部が大きいときは2つのロールスクリーンを繋いで使用することになります。その場合はあいだに隙間ができ、完全に遮光することはできなくなります。カーテンに比べ多少コストが高くなる場合もあります。

### ブラインド



ブラインドは小さい羽根(スラット)を何枚も重ねて、それを開閉したり、上げ下げして遮光するタイプのものです。ブラインドを下まで下げ、外からの視線を遮りながらも、羽根を開閉することで、室内に光や風を取り込むことが最大のメリットです。ただし、羽根と羽根のあいだに隙間ができるため同時に遮音することはできません。

羽根の素材は、アルミ製が多いようですが、木製や布製もあります。ブラインドはデザインにアクセントがあるため、インテリア・イメージをグレードアップし、オシャレな部屋を演出することができます。

基本的にブラインドは構造が複雑なため、カーテンやロールスクリーンと比べ種類が少ない点がデメリットです。また、一枚一枚の羽根に埃が溜まりやすく掃除に手間がかかることがあります。

### ロールスクリーン



ロールスクリーンは、上部にあるロール状に巻かれた布を、上下に動かして外からの視線や日射しを遮断します。使用しないときは巻き上げておけばコンパクトに収納でき、室内がすっきりします。最近は採用されるケースが多くなり、カラー・デザインも豊富になりました。

迷ったら、経験豊富な  
ハウスメーカーにご相談を！

ママとパパとワタシにやさしい展示場。



山陽新聞岡山住宅展示場

